

第56回 山口県中学校卓球選手権大会開催要項 訂正版

- 1 目的 本大会は、中学校教育の一環として中学校生徒に広く卓球実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚をはかり、心身ともに健康な中学校生徒を育成するとともに、中学校生徒の相互の親睦をはかるものである。
- 2 主催 山口県中学校体育連盟 山口県教育委員会
- 3 共催 防府市教育委員会
- 4 会期 令和4年7月22日(金)・23日(土)
- 5 日程 第1日 団体戦 受付時間 8時00分～8時30分 開会式なし
第2日 個人戦 受付時間 8時00分～8時30分 開始式なし
- 6 会場 ソルトアリーナ防府
- 7 参加資格 (1) 参加者は、山口県中学校体育連盟加盟の学校に在籍し、学校教育法第1条にもとづく当該中学校生徒であること。
(2) 年齢は、平成19年(2007年)4月2日以降に生まれた者に限る。
(3) 学校教育法134条の各種学校(第1条校以外)に在籍し、山口県中学校体育連盟から参加を認められた生徒であること。参加を希望する各種学校は、別に定める条件を具備すること。
(4) チーム編成は一校単位で編成されたものとする。
(5) 参加生徒の引率・監督は、「山口県中学校体育連盟引率・監督規程」により、出場校の校長・教員・部活動指導員とする。アドバイザーについては校長の認めた者とし、所定の様式で届け出ること。
また、個人戦の参加については、校長・教員・部活動指導員が引率できず、校長がやむを得ないと判断した場合、外部指導者の引率を認める。その際には、所定の書類を実行委員会に提出すること。
なお、部活動指導員は、他校の引率者及び依頼監督にはなれない。
(※部活動指導員とは、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者)
(6) 団体戦・個人戦でベンチ入りをするアドバイザーは1校・1チームに1名とし、他校のアドバイザーを兼任することは認められない。また、他中学校の校長・教職員・部活動指導員にはその資格がない。
(7) 引率者・監督者は、「山口県中学校体育連盟引率・監督規程」により、暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていないこととする。
また、大会に関わる外部指導者は、県中体連に登録し、暴力・体罰・セクハラ等により、校長から指導処分を受けていないこととする。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。
(8) 個人情報の取り扱い(利用目的)
大会の主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、山口県中学校体育連盟個人情報保護方針・規程に基づき、取得する個人情報について適正に取り扱う。取得した個人情報は、競技大会の資格審査・競技大会運営上必要なプログラム編成及び作成・ホームページ・掲示板・報道発表(記録集)等、その他競技運営及び競技に必要な連絡等に利用する。
登録選手一人につき500円とする。
- 8 大会負担金
- 9 参加規定 (1) 団体戦の各支部の参加チーム数は、各支部学校数をもとに算出したチーム数とする。但し、春季県体の東西それぞれのベスト8のチームは、枠外参加とする。また、開催支部はフリー参加とする。
各チームは、同一校の選手6名～8名で編成。
(2) 個人戦の各支部の参加人数は、各支部学校数をもとに算出した人数とする。但し、春季県体の東西それぞれベスト16の選手は枠外参加とする。また、開催支部の学校は、各校2名を開催支部枠参加とする。
(3) 夏季大会に限り、同一年度内の参加は全種目を通じて一人一回とする。
- 10 競技規則 現行の(公財)日本卓球協会競技規則、および本大会規則による。
(1) 試合球は40mm ホワイト球。試合球は各校持ち寄りとする。
(2) ゼッケンは、氏名、学校名を記載し、背面につけること。

- (3) ベンチコーチについては、団体戦、個人戦とも、全試合で入れる。
 (中国大会が山口県で行われる場合、4回戦より入れる。)
- (4) タイムアウトについては、団体戦は決勝リーグ以降、個人戦は5回戦以降の試合でのみ適用する。
 (中国大会が山口県で行われる場合、個人戦は4回戦以降の試合でのみ適用する。)
- 11 競技方法 (1) 団体戦は、4単1複で、3番にダブルスを入れる。シングルスとダブルスを同一選手が兼ねることはできない。トーナメント戦で行う。3点先取勝ちで行う。
 (2) 個人戦は、トーナメント戦で行う。順位決定戦を行う。(7位決定戦は行わない。5位に負けた選手が7位、6位に負けた選手が8位とする。)なお、全国大会推薦選手が出た場合には、決定戦を行うことがある。
- 12 表彰 (1) 団体1位～3位までの学校に、賞状を授与する。
 (2) 個人1位～3位までの選手に、賞状を授与する。
 (3) 団体1位には優勝旗を、個人1位には優勝杯を授与する。(持ち回り)団体1位・個人1位に対しては、レプリカを贈呈する。
- 13 参加申込 (1) 郵送(1部、職印必要) 令和4年6月16日(木) 必着
 (2) メール(エクセルファイルで申し込むこと。ファイル名を【選手権申込中学校名 男または女】とし、男女別ファイルで申し込みすること。氏名に外字を使用する選手は、その旨をメール通信欄で連絡のこと) 令和4年6月16日(木) 12時
 (3) 各支部専門委員長は、支部予選終了後3日以内に支部結果を県専門委員長へメール送信すること
 (4) 申込先 ① 郵送〒750-0075 下関市彦島江の浦町二丁目25番1号 下関市立彦島中学校 岡崎 峰之
 ② メール okazaki.mineyuki@ysn21.jp
 (5) 様式 県中体連HPよりダウンロード。
 (6) 申込の期限を厳守のこと。期限に遅れた場合は棄権とみなす。
- 14 組合せ 令和4年6月下旬において、抽選し、決定する。
- 15 その他 (1) 申込については責任をもち、万一出場できないときには、事前に連絡すること。申込は枠外チーム、枠外選手も必要とする。
 (2) 組み合わせは、7月初旬に県中体連HPに掲載する。
 (3) 団体戦のオーダー用紙は当日受付時に配付する。1回戦があるチームは、受付終了時刻までに提出すること。
 (4) 団体戦には、監督1名、アドバイザー1名(当該校教員または外部指導者として中体連に登録されている者)と選手8名までがベンチに入ることができる。
 個人戦には、監督またはアドバイザーのいずれか1名がベンチに入ることができるが、試合中の交代は認められない。
 (5) 変更がある場合は、受付時に変更届を提出すること。変更届の様式は、県中体連HPからダウンロード。個人戦の出場者については、申込後の変更は認められない。
 (6) 団体戦は相互審判、個人戦は敗者審判を原則とする。
 (7) 本大会上位から団体男女各2チーム、個人男女各8名が、中国中学校卓球選手権大会への出場権を得る。
 (8) 観覧席は二階にある。指定された人が指定された場所を間隔を開けて使用すること。
 (9) 下足箱は、選手の使用は不可とする。下足を入れる袋を各自で準備し、監督の責任のもと、確実に管理すること。
 (10) ゴミは必ず全部持ち帰ること。
 (11) 2日とも、開場は8時00分とする。
 (12) 大会中の朝の練習は、できません。
- 16 連絡先 県中体連 卓球専門委員長 岡崎 峰之 携帯番号 090-5269-8489